

2026 SUPER GT Rond 6, SUGO GT 300km RACE

「不安定な天候に翻弄され、厳しい状況の中で Q1 突破。

明日の決勝へ向けて、パフォーマンスに自信を抱く！」



●9 月 19 日(公式練習/予選)

大型台風 25 号が日本列島に接近している中、スーパーGT 第 6 戦『SUGO GT 300 KM RACE』は、やや不安定な天候のスポーツランド SUGO を舞台に開催されました。

午前10時30分から開始された公式練習は、気温22℃、路面温度23℃というコンディションの中でスタートしました。前日に降った雨は上がってはいたものの、まだ路面は完全に乾いている状況ではなく、セッション開始時にはウェット宣言が出されました。

6 号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI は、まずはニクラス・クルッテン選手がステアリングを握ってコースイン。5 周目に 1 分19秒074をマークし、この時点で 7 番手となるタイムをマークし、まずまずの手応えを掴み、片山義章選手に交代。しかし片山義章選手が





VELOREX

PRESS RELEASE

チームとエンジニアがバランスをしっかりと修正してくれたので、Q1突破できて良かったです。今回の路面温度や気温の状況では、自分たちがチョイスしたタイヤで美味しい部分は1ラップしか無く、慎重にかつ大胆に攻めたのですが、シケイン手前で攻めすぎてしまい、やや縁石に乗った瞬間にバランスを崩してしまいました。タイヤの美味しいところは終わっていましたが、そのまま連続アタックでタイムアップを果たし、予選15番手という結果となりました。シケイン進入に向けて第4コーナーを攻めすぎてしまったのが、結果的にもったいなかったですね。

明日は雨の予報なので、荒れたレースになると思いますし、周囲に当てられないように気をつかいながら最後まで攻めのレースで勝負に出たいと思っています」



■ニクラス・クルッテン選手のコメント

「朝の公式練習はマシンのバランスがいまひとつで、トラフィックもあってセットアップを煮詰めきれない難しいコンディションでした。片山義章選手に交代した頃には雨も降ってきましたし、自分たちのリズムに乗って走れたとは言えない状況でした。でも予選までにチームが素晴らしい仕事をしてくれて、実際に予選でコースインした時にバランスが格段に良くなっているのを感じました。自分のアタックには満足していますが、アタックラップのセクター3で全体ベストを出していたのに、セクター4が自己ベストではなかったのもう1周アタックしたのですが残念ながらタイヤが終わっていました。予選順位はアンラッキーと言えればアンラッキーな結果ですが、自分たちにポテンシャルがあることは確信できたし、雨のレースは得意なので大きなポジションアップができると思います」





■小倉啓悟チーム監督のコメント

「公式練習は中途半端な天候になってしまい、特に片山義章選手の走行時間帯で雨が降ってきたので、ロングランの確認もできませんでしたし、いろいろな意味でセットアップが出し切れませんでした。ふたりともややアンダーが強く出ていたと主張したので予選までにデータを解析し、持ち込みのベースセットに近い状況までアジャストしたのが路面コンディションに対しては正解でしたね。予選では路面コンディションが最も良い状況になるのを待ってコースインさせました。ニクラス・クルッテン選手がセクター3で全体ベストをマークする走りを見せてくれて予選Q1を突破できたのは良かったと思います。ニクラス・クルッテン選手のコメントから、予選Q2までに多少のアジャストをして片山義章選手にステアリングを委ねました。アタックラップで攻めすぎてしまったので、さらにもう1アタックしてタイム更新できたのですが、結果はやや残念なグリッドとなってしまいました。明日はまだ天候がはっきりせず、天気予報も微妙なので、朝の段階でチームミーティングを開き、最終的なセットアップを決めたいと思っています。中途半端なコンディションは嫌ですが、雨になったら、タイヤをうまく使って、上位を狙いたいと思います。応援よろしくお願いします」

■本リリースに関するお問い合わせ: チームルマン広報部: info@teamlemans.co.jp